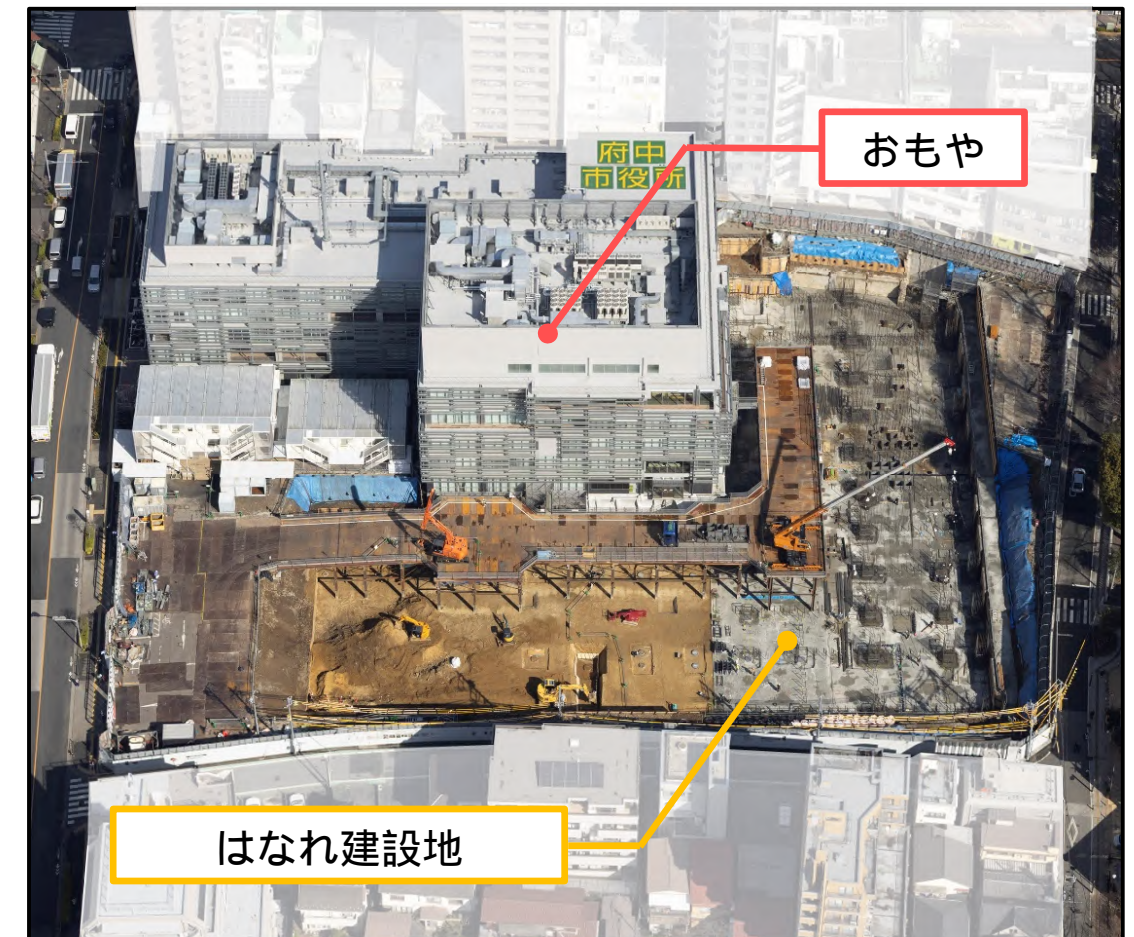
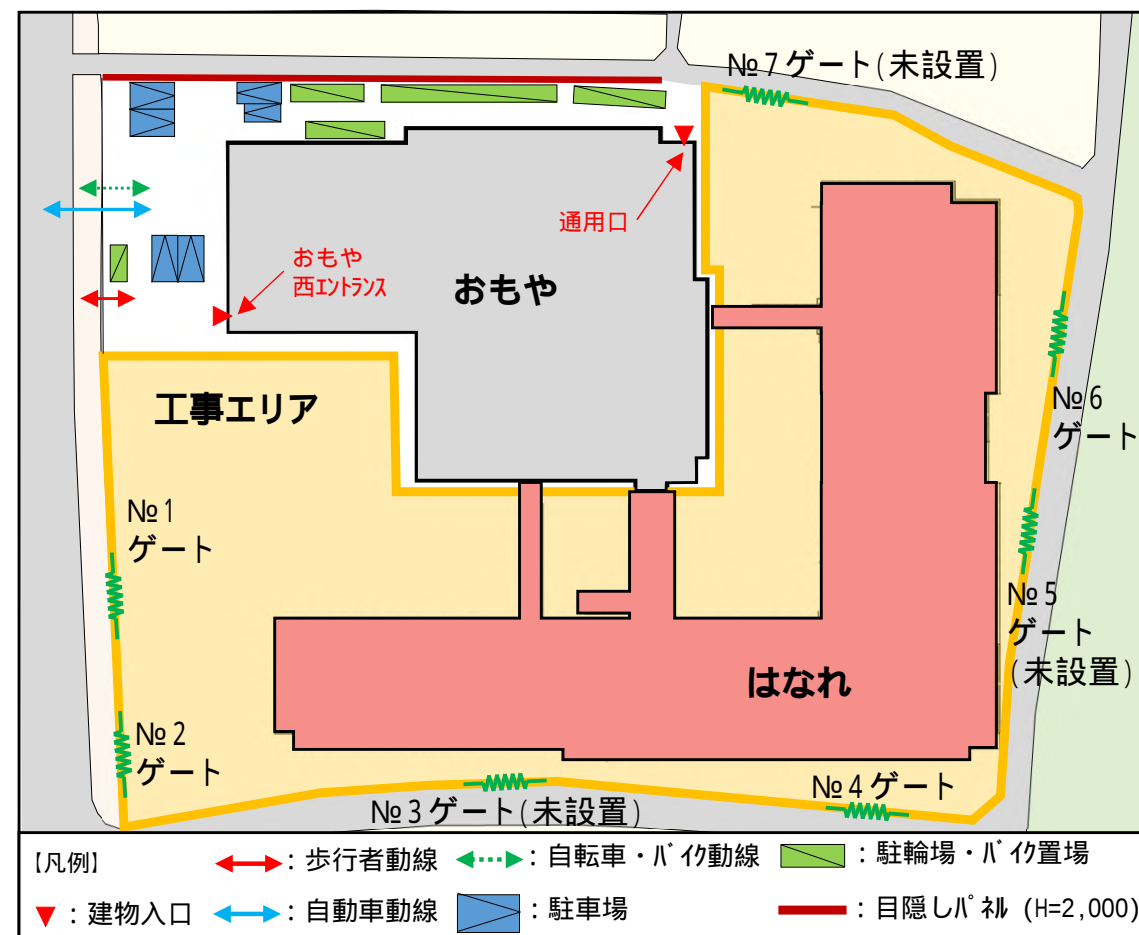
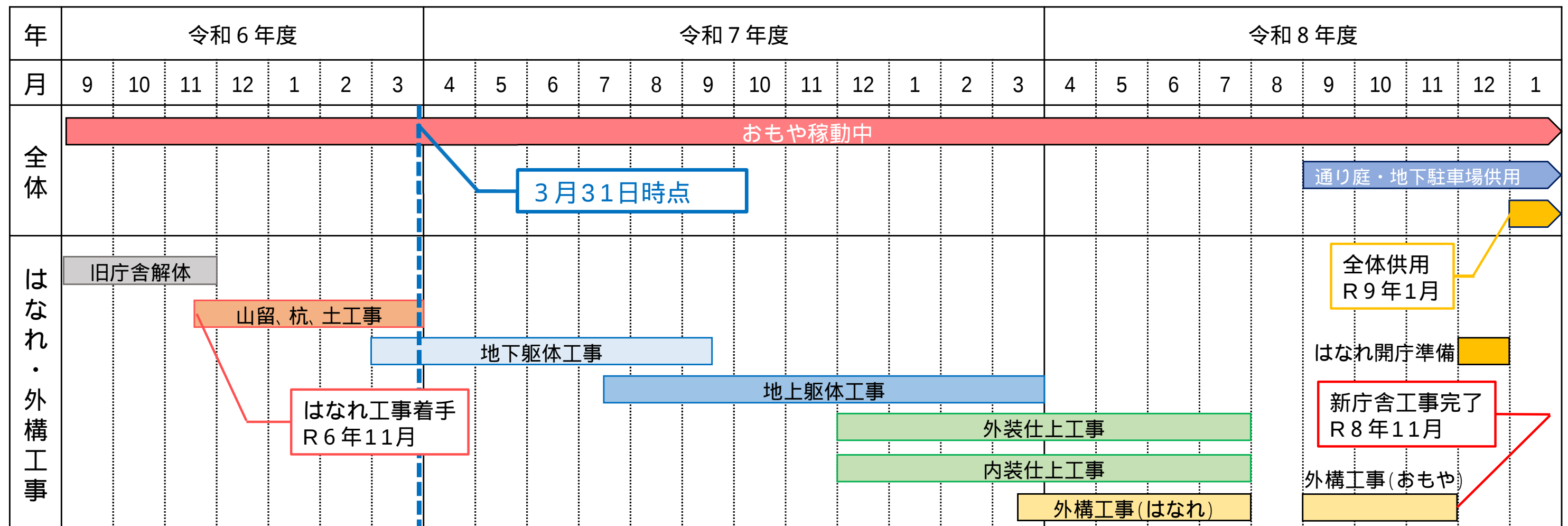


【航空写真（R7.3月13日時点）】

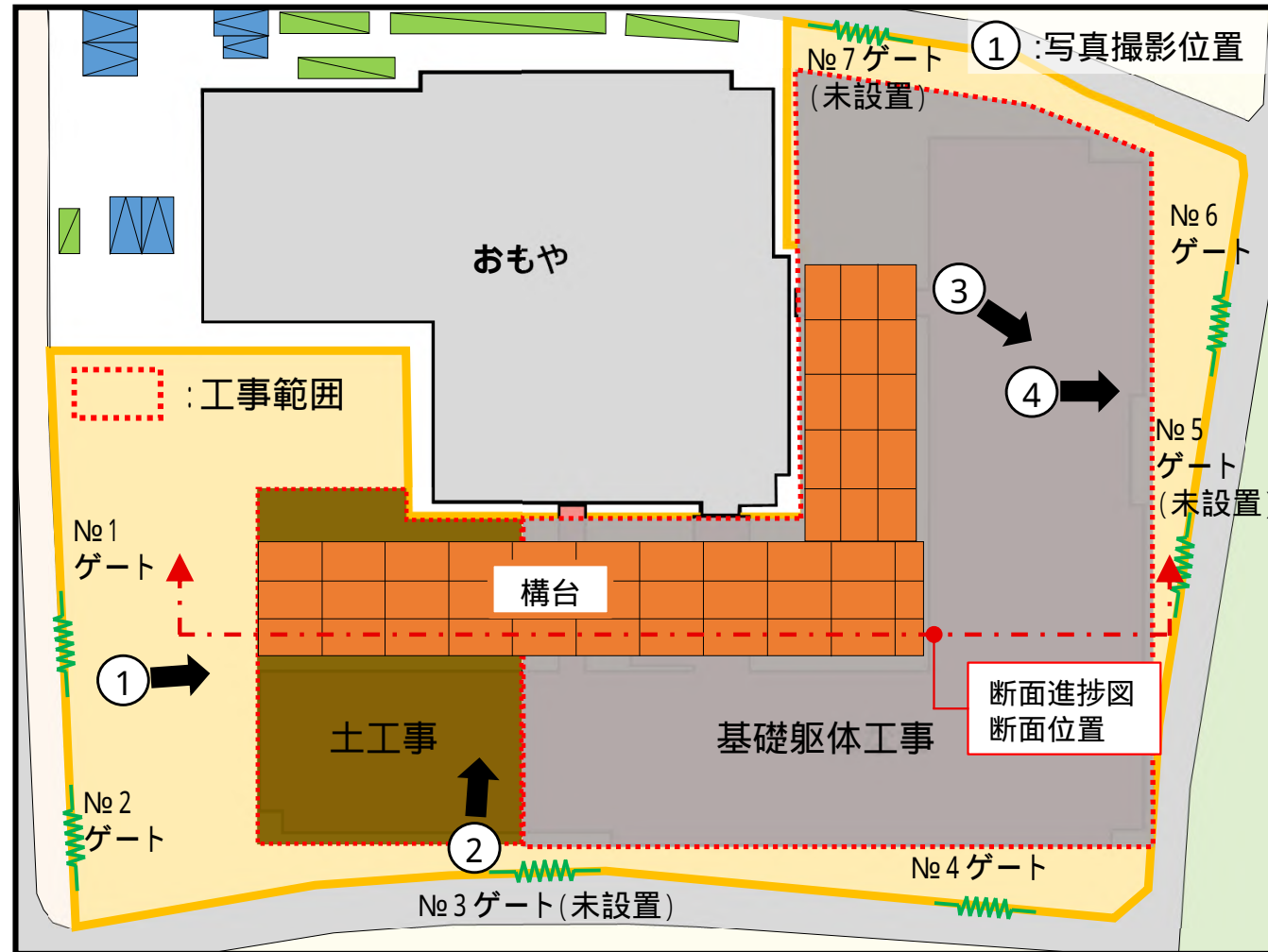
敷地面積	11,633.89m ²
用 途	事務所、図書館、店舗、 駐車場
構 造	鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造(免震構造)
階 数	地上6階 地下1階
最高高さ	30.14m
延べ面積	32,362.67m ²
建築面積	6,349.29m ²



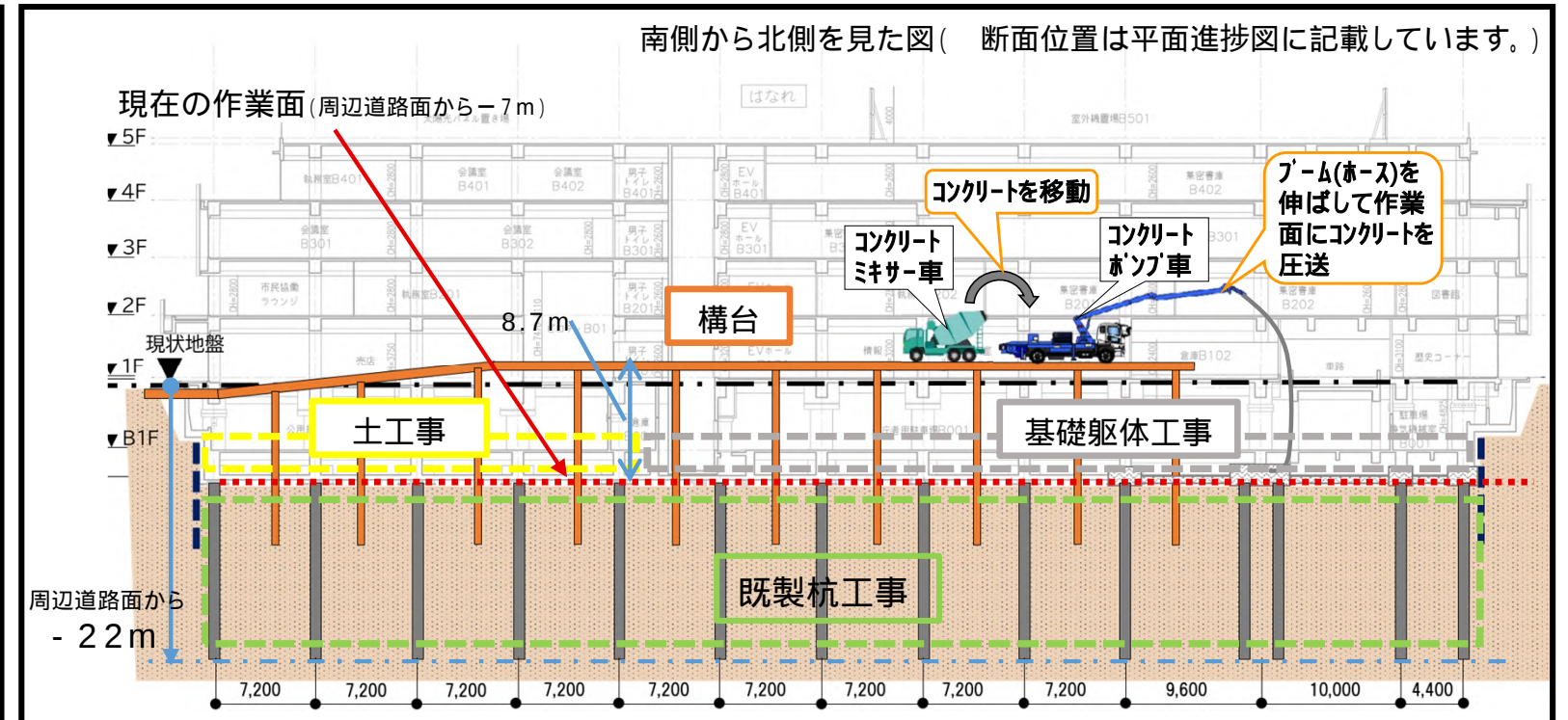
【工程表】



【平面進捗図】



【断面進捗図】



● 既製杭工事

クローラークレーン



建物基礎の下に、長さ約12m～19mの「既製杭(コンクリート製)」が埋め込まれています。おもや工事で78本、はなれ工事で75本、合計153本の杭を打ち込みました。杭を打ち込むことで地盤を安定させ建物の傾斜や沈下を防ぎます。また、基礎躯体工事の前に杭の頭を露出させ、その上から配筋作業を行います。

● 基礎躯体工事(鉄筋工事)



▼写真：基礎柱の配筋を行っています。

▲写真：レベルコンの上に受架台を設置し、基礎の配筋を進めています。



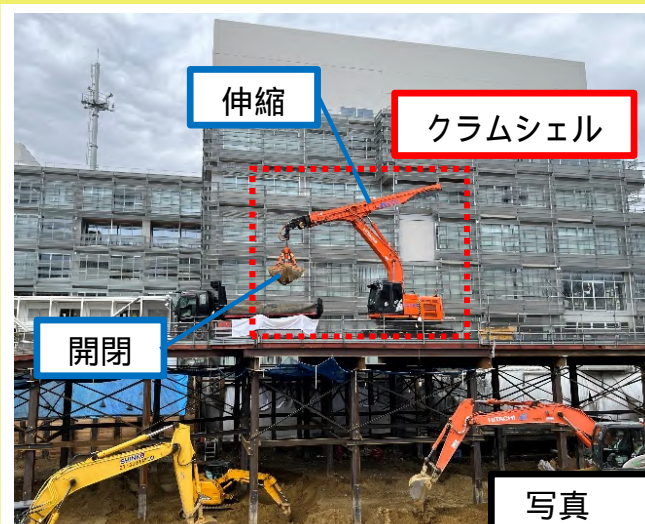
打設した「レベルコン」の上に、基礎躯体の位置出しを行い、「受架台」を設置しています。「レベルコン」は地盤面のレベルを均一にする事や位置出しの精度の向上を目的とし打設します。「受架台」は躯体の鉄筋を支持するために設置する金物であり、配筋作業を正確に行うことができます。また、鉄筋は建物の安全や耐久性を確保するうえでかせない工事になるので組み立て時に間違いや異常がないか何度も検査します。

● 構台



構台は工事車両を安全に、効率よく乗り入れるための仮設作業台です。構台に設置したクレーンを利用して地下の作業場へ資材等を届けています。構台には落下防止用の手摺とネットを設置し、通行する作業員の安全を確保しています。

● 土工事



構台の上から「クラムシェル」を用いて土をトラックに積み込み、搬出しています。「クラムシェル」は二枚貝のような開閉するバケットで土砂等をつかむことができ、重機の腕に当たる部分が伸縮するため、高低差があるような現場や通常の工事車両では入れない不整地等での工事に用いられます。